

部門名	一般土木工事（大規模）
案件名	魚町雨水枝線工事
場所	魚町
事業者名	まるなか建設株式会社
代表者名	代表取締役 内藤 忠
技術者名	監理技術者 勝部 真吾
工事概要	施工延長 L=93m ボックスカルバート 1600×800 L=93m マンホール 2200A 型 N=1 基
評価ポイント	関連する工事や近隣地域との調整を適切に行い、安全対策や近隣の店舗にも十分配慮して円滑に竣工した。また、現場の状況に応じた施工方法の提案や施工上の工夫も積極的に行われ、施工の精度や仕上がりも良好であり、全体として優れた工事であった。

受賞技術者である、まるなか建設(株) 勝部 真吾さんにいろいろな思いを伺ってみました。

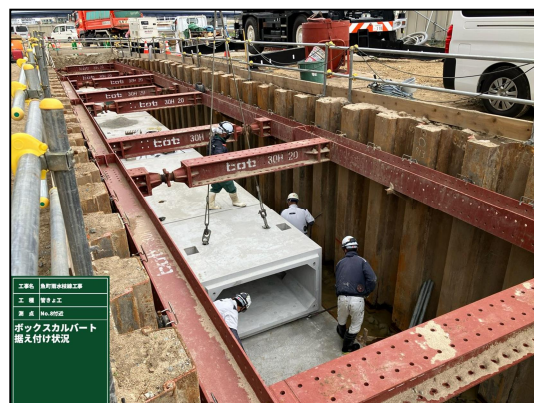
受賞の感想は？

様々な課題のある困難な工事でしたが、会社のバックアップと協力業者の技術力、地域の方々のご理解・ご協力のおかげで受賞できたものと深く感謝しています。

本工事で心掛けたこと、印象に残ったこと等は？

本工事は市道の付け替えに伴う雨水渠（ボックスカルバート）を設置する工事でしたが、他に関連工事が複数あったため、各工事の発注者・施工業者と工事調整を行った結果、工事着手が大幅に延期となり、工期開始から半年後に工事着手する事になりました。

本工事区間は当時の石垣等が点在する埋蔵文化財調査区域であり、雨水渠の支持地盤は砂・シルトを多く含む地盤でした。当初想定していた工法はその都度施工が不可能となり中断する事になりましたが、施工可能な工法を迅速に検討・協議する事で工事の大幅な遅延を防いで工事を完成する事ができました。



仕事における今後の目標は？

様々な技術を活用し、工事現場の省人化・省力化とイメージアップを目指します。

建設業のやりがい（いいところ）はどのようなことですか？

様々な人とコミュニケーションを取り、様々な技術を駆使する事で着実に工事が完成していくという達成感にやりがいを感じます。

勤務先であるまるなか建設(株)のいいところを教えてください。

当社は土木・建築・舗装工事を施工する総合建設会社です。今年創立 50 周年を迎えましたが、現状に満足する事なく常に変化と進歩のため努力している会社です。

これから建設業界を目指す人へ伝えたいことは？

ICT 技術等の導入により建設業は専門的で難しいと感じるかもしれませんが、誰もが少しずつ経験を重ねて技術者になっています。何事にも興味・関心を持ち、積極的に取り組む事が大事だと思います。



まるなか建設株式会社
(写真左) 代表取締役 内藤 氏
(写真右) 監理技術者 勝部 氏